

(第1回最終変更) 契約変更の内容

契約変更年月日	令和 8年 2月 26日
契約業者名	阪神高速技研(株)
契約業者の住所	大阪府大阪市北区中之島3-3-23-23
業務の名称	システム運用管理及び改良業務(2025-技術部)
業務場所	
業務種別	(その他)
業務概要	Hi-TeLus運用管理及び改良業務(2025年度) 1式 技術力PRサイト運用管理業務(2025年度) 1式 設計審査支援システム運用管理業務(2025年度) 1式 求める技術のWebサイト運用管理業務(2025年度) 1式
業務期間(自)	令和 7年 3月 18日
業務期間(至)	令和 8年 3月 31日
契約金額	154,957,000 円
変更金額	4,279,000 円 増
変更後の契約金額	159,236,000 円
変更理由	別紙のとおり

※金額は、税込みである。

変更契約理由書

システム運用管理及び改良業務（2025-技術部）第1回（最終）変更理由書

■委託契約書第14条に基づき、下記の通り変更する。

第3章 業務の内容

3-9 運用管理・運転管理マニュアル作成【追加】

【理由】

当社が保有する情報システムが適切に運用管理又は確実に運転管理されるために、運用管理・運転管理マニュアルを整備・検証するよう、経営企画部情報システム室より各システム担当者宛対応依頼があったところ。当課で保有するPROZITクラウド版においても上記対応依頼を踏まえて、運用管理・運転管理マニュアルを作成するべく、本業務内容へ追加するものである。

3-10 しゅん工済みHi-TeLusデータBOX移行【追加】

【理由】

現在、Hi-TeLus の工事関連ファイルは FileBlog アプリサーバを経由してファイルサーバに格納されているが、今後 BIM/CIM・点群データ等の大容量ファイルの増加が見込まれることから、サーバ容量の逼迫や大容量データのアップロード制限といった課題が顕在化しており、早急な対策が必要な状況である。

大容量データの適切な保管、Hi-TeLus に蓄積された情報の円滑な共有、さらには DX 推進に向けた全社的な体制整備およびデータ利活用の観点から、社内で広く利用されている BOX との連携を視野に入れ、その最適化に向けた検討および必要な作業を本業務へ追加する。

BOX への格納先移行方針としては、まずデータ量の多い しゅん工済みフォルダ の移行を先行して実施することとし、本項目では、その検討・移行作業および BOX 連携に必要な DMB ライセンス費用を計上するものである。

3-11 Hi-TeLusポータルサイトの検討及び構築【追加】

【理由】

Hi-Telusが予期せぬシステム障害等でアクセス不可となった際、現状、システムの現状について通知する場がなく利用者にとって不便な状況であり、対策が必要である。

お知らせ機能をもったHi-Telusポータルサイトについて検討し、その構築作業を本業務に追加するものである。

システム運用管理及び改良業務（2025-技術部）第1回（最終）変更理由書

【技術推進室：設計審査支援システム運用管理業務（2025年度）】

当初は、2024年6月より休止させている設計審査支援システムの復旧と運用の可能性があったが、その後の検討の結果、復旧運用する方針がなくなったため、本作業を削除する。

システム運用管理及び改良業務（2025-技術部）第1回（最終）変更理由書

【技術推進室：求める技術の Web サイト運用管理業務（2025 年度）】

当初は、コミュニケーション型共同研究の公募にあわせ、求める技術のWebサイトの更新および障害発生時の対応を行うことを想定していた。Webサイトのリニューアルに伴うシステムの変更により、コンテンツの更新および障害発生時の対応作業を社内所管部署で実施することが可能となり、本業務で実施する必要がなくなったため、本作業を削除する。

■経費率の変更

委託業務に係る見積書作成要領（2025年度）の改訂のため、本業務の経費率を変更するものである。

以上